

強度行動障害支援者養成研修【基礎】

# 実践報告

## 行動援護 事業所における支援の実際



社会福祉法人とちのみ会 フロム浅沼  
サービス管理責任者 小高 洋平

## 障がい者通所施設

### 就労継続B型（10名）



障がいのある方の仕事の場を提供し、箱折りやパン工房等の生産活動を通して、就労に必要な知識および能力の向上をめざし、支援を行います。

### 生活介護（30名）

生活する上で必要な支援の他に、毎日のウォーキング、ストレッチなどの運動や定期的な血圧測定などの健康管理を行っています。また、日中活動として、軽作業や創作活動を提供し、健康で豊かな生活を送れるよう支援しています。



主な作業  
・ネジ組み立て  
・農耕作業  
・封入作業  
など



### 日中一時（5名）

一定時な利用を希望される方へ支援を行います。

## 相談支援事業

### 地域生活支援拠点

障がい者等の高齢化・重度化や「親亡き後」を見すえ、彼らが住み慣れた地で安心して暮らしていけるようにさまざまな支援を提供していきます。

#### グループホーム浅沼



#### 短期入所



### 地域支援対応室（2室）

家族単位での短期宿泊および日中の居場所など、幅広い用途でご利用できます。

### 障がい者相談支援センターみどり

みどりでは障がいのある方とその家族の方々の福祉サービスに関するご相談を24時間体制でお受けしています。

障がいの種別や年齢等に関わりなくどんなことでもお気軽にご相談下さい。



### ホームヘルプサービス （とちのみホームヘルプ）

家庭での家事援助・入浴介助等の支援や、通院介助、地域での社会参加への付き添い支援などを行っています。

## こども発達支援センターさのかりん

### 児童発達支援（10名）

発達支援が必要な未就学児が、日常生活動作や知識技術、社会性を習得します。



### 放課後等デイサービス（10名）

障がいのある就学児童が放課後や長期休暇中に通い、自立した日常生活を営むために必要な支援や地域交流の機会の提供などを行います。

### 乳幼児総合相談

子育て支援や障がいの早期発見、相談を行います。

### 保育所等訪問支

園や学校に訪問して、先生と児童の相談を行います。

## 行動援護とは・・・

知的障害又は精神障害により行動上著しい困難を有する障害者等であって常時介護を要するものにつき、当該障害者等が行動する際に生じ得る危険を回避するために必要な援護、外出時における移動中の介護、排せつ及び食事等の介護その他の当該障害者等が行動する際の必要な援助を行います。

厚生労働省HPより抜粋

### 簡単に表現すれば

障害福祉サービスの一つで、障害によって行動に対して困難が生じている人をサポートするサービス。

## 行動援護を利用できる人は？？？

障害支援区分が区分3以上であって、障害支援区分の認定調査項目のうち行動関連項目等（12項目）の合計点数が10点以上（障害児にあってはこれに相当する支援の度合）である者

厚生労働省HPより抜粋

### 簡単に表現すれば

知的障害または精神障害＋支援区分3以上＋認定調査項目の行動関連項目の合計が10点以上の方が対象。

## D・Aさんの基本情報

- ・ 男性
- ・ 平成6年2月生まれ。現在26歳
- ・ 療育手帳A1 支援区分6
- ・ 利用中のサービス  
生活介護 法人内通所事業所  
行動援護 1回/週  
日中一時 法人内入所施設 数日/月
- ・ 家族構成 父・母・本人・妹 4人家族 (市内持ち家)
- ・ 学童期からとちのみ会を利用している。
- ・ 発語は無し。
- ・ 急な自傷行為、他害行為、衝動的な行動がみられる。
- ・ 睡眠障害 (睡眠リズムの乱れ、昼夜逆転) がみられる。

## 家族からのニーズ・行動援護サービスの目的

- ▶ 家族が本人の支援、介護に負担を感じている。
- ▶ 日中の活動により睡眠リズムを整える。（体力を消耗させてほしい。）



## 利用初期の本人の様子

- ▶ 普段と違うパターンの休日であるため、落ち着かなく奇声をあげたり、自分の腕を噛む自傷行為や、他者に物を投げつけたり、殴ろうとすることがみられ、本人が混乱しているように思われた。

## 他にも・・・

- ▶ 車で出かけると、車から降りられない。
- ▶ 洋服を濡らすことを好み、じゃぶじゃぶ池や噴水などが見えると、突然走り出し全身びしょ濡れになるほど遊んでしまい、なかなか終わることができない。また、服にもこだわりがあり濡れた服を着替えることが出来ない。
- ▶ 職員の焦りが本人にも伝わり、支援を受け入れられなくなる。



本人の混乱した様子や、支援を行うヘルパーさんからの相談を受け、このままでは彼にとって良い支援を提供できていない、どうにかしなければ・・・

支援を取り組むうえで

我々はまず、D・Aさんの**障害特性**を再確認することから始めました。

# D・Aさんの障害特性

- ▶ 発語はない。
- ▶ 日常生活で使う簡単な単語なら理解できるものもあるが、言葉での指示は理解しにくい。
- ▶ 車に乗ったり、外ですごしたり、水遊びや高い所へ上がるのが好き。
- ▶ 気分が高ぶると、全裸になってしまう。
- ▶ 嫌なことは、奇声を発し自傷行為や他害にて表現する。
- ▶ 服にはこだわりがあり、なかなか着替えられない。
- ▶ 突発的な行動がみられる。
- ▶ 危険の認識、危機回避をすることができない。
- ▶ 予定やパターンの変更が苦手。
- ▶ 初めてのことや突然何かをやらされることが不安に感じる。

# 障害特性をリフレーミングしてみる

- ▶ 発語はない。
- ▶ 日常生活で使う簡単な単語なら理解できるものもあるが、言葉での指示は理解しにくい。
- ▶ 車に乗ったり、外ですごしたり、水遊びや高い所へ上がるのが好き。
- ▶ 気分が高ぶると、全裸になってしまう。
- ▶ 嫌なことは、奇声を発し自傷行為や他害にて表現する。
- ▶ 服にはこだわりがあり、なかなか着替えられない。
- ▶ 突発的な行動がみられる。
- ▶ 危険の認識、危機回避をすることができない。
- ▶ 予定やパターンの変更が苦手。
- ▶ 初めてのことや突然何かをやらされることが不安に感じる。
- ▶ 言葉以外での表現をすることができる。
- ▶ 簡単な単語を理解することができ、言葉以外での指示なら理解することができる。
- ▶ 活動的で身体を動かすことを好む。
- ▶ 普段は洋服を着ていることができる。
- ▶ 自分が嫌だと感じることを行動で意思表示することができる。
- ▶ 着ている洋服への愛着を感じるができる。
- ▶ 思い立ったらすぐに行動することができる。
- ▶ 危険を顧みずに行動することができる。
- ▶ ルーティン化を好み、予定通り行動することで安心する。
- ▶ 慣れ親しんだことを好む。

## リフレーミングした障害特性に対して支援方法や内容を検討してみた結果

- ▶ その日のスケジュールは数日前から自宅で家族の人から本人に伝えてもらう。
- ▶ 物事を伝えるときには、書面や絵カード、ジェスチャーと言葉で伝えるようにする。
- ▶ 伝える言葉は短く、わかりやすくする。
- ▶ 興奮状態や落ち着かない時には、落ち着くのを待ってから出発する。
- ▶ 出かける場所は、山登り、アスレチック、水遊びができる3か所とし、ルーティン化しパターンを作る。
- ▶ 昼食はいつも同じお店で同じ席に座る。
- ▶ 対応にあたる支援員のために不測の事態をいくつか想定し、いつもと違うことが起きても焦らず対応できるように準備しておく。（もし焦ってしまっても、その様子を出さないように演じる。）
- ▶ 外出先で落ち着かない様子があったら、静かな空間へ誘導する。

## 実際に支援をしてみると・・・

- ▶ その日の見通しが持てるようになり、スムーズに動けるようになった。
- ▶ 絵カードと実際の時計を照らし合わせることで、行動の「終わり」を理解し次の行動に移れるようになった。
- ▶ 食事は行きなれた場所、同じ席に座ることで落ち着いて過ごせるようになった。（本人の希望でメニューも毎回同じ。）
- ▶ 不穏時には落ち着いた場所へ誘導することで、気持ちの切り替えができるようになってきた。

## 支援を続けた結果

- ▶ D・Aさんは外出を毎回楽しみにしてくれるようになった。
- ▶ 少しずつ睡眠リズムが整ってきた。
- ▶ 支援員は不安を抱えることなく支援に取り組むことができるようになった。

## 支援を通して

- ▶ 情報共有し、構造化された支援を行うことで、利用者は混乱することなく支援を受け入れられる。そうすることで、支援者も心にゆとりをもって支援に臨むことができる。
- ▶ パターン化、ルーティン化することによって利用者は安心して行動ができる。そのことにより自信へとつながる。（成功体験を得られる）
- ▶ 継続して支援を提供できることで、家族が休息できる時間を提供できる。（家族支援にもつながる）



## 最後に

利用者本人はもちろん、家族支援にもつながるこの支援をよりよく提供できるように今後も事業所全体で取り組んでいきたいと思えます。

ご清聴ありがとうございました。